

ー尼崎市からのお知らせー

アルゼンチンアリにご注意ください

アルゼンチンアリは南米原産の小型のアリで、日本では 1993 年に広島で発見され、その後各地で確認されています。

尼崎市では 2023 年 4 月に発見され、その後の調査で尼崎市南東部（国道 43 号沿線、国道 43 号以南）において確認されています。

撮影：長島聖大

アルゼンチンアリとは

アルゼンチンアリは**毒性がなく人体・健康への直接的な影響・被害はありません**が、繁殖力が強いので、定着した地域では屋内へ侵入し行列をつくる、**食品に群がる**など不快害虫として日常生活への支障が出るほか、**機器類に侵入することで故障を引き起こす**可能性があると言われています。



特徴

体長：2.5 mm 程度

体色：薄い黒褐色もしくは茶褐色、つやがない

その他：非常に動きが速い

実物大



よくいる場所



コンクリートの割れ目



プランターや石などの下

尼崎市の対応

市ではアルゼンチンアリの正確な分布範囲を把握するための調査を実施するとともに、分布拡大を防ぐため、ベイト剤（餌として巣に持ち込まれるタイプの殺虫剤、巣ごと退治するのに効果的）を設置して、順次防除していきます。

気になるアリがいた場合には

市販の殺虫剤で駆除することが可能です。しかし、見えているアリだけでなく、**巣ごと退治することが重要な**ため、住居や事業場で発見された場合は、**ベイト剤の設置を基本に対応をお願いします。**



ベイト剤の例



- ・ 5m 間隔に設置
- ・ 花壇などアリが多い場所には密に設置
- ・ アリがいなくなるまで 1 か月おきに交換